

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -10

5-
-10

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
	節	伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	10 空き家利活用事業	事業主体	佐渡市地域振興課	
		事業実施期間	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市建設課
事業概要	【事業目的】 景観保護地区において空き家の利活用を促進し、歴史的な景観の保護と、地域の活性化を図る。			
	【事業内容】 相川や笹川等の景観保護地区を中心に、歴史的まち並みを活かした空き家の利活用について、積極的な周知、広報を行うとともに、所有者とのマッチングや景観保全に必要な情報提供等相談窓口機能の強化を図る。			
⑨ 事業計画と実績	【29年度計画】 空き家システム登録件数の拡大や利活用のため、空き家物件に対する所有者への意思確認のためのアンケート調査を実施するとともに、宅建協会との協定を強化した空き家情報制度の構築に向けて取り組む。			
	【29年度実績】 空き家所有者への意向調査を実施した。 (回収率62.5% (対象者2,157件、回答者1,348件)) 宅建協会との事務調整を実施した。			
課題・今後の取組	【課題】 活用に向けた優先物件の設定が必要である。			
	【今後の取組】 優先物件の設定に取り組む。 宅建協会との協定を強化した空き家情報制度の構築に向けて取り組む。 景観保護地区の空き家について、関係機関で連携しながら活用を図る。			
事業評価	【事業の達成度】 { a · b · c }			
	【事業実施の効果】 { a · b · c }			
	【総合評価】 { A · B · C }			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。